

川づくり 清瀬の会

会 誌 第 39 号

2023 年 3 月 発行

発行・編集者 会誌編集委員会



【柳瀬川から見た富士山と川で集う鳥たち】

サギの仲間たちが多数群れている珍しい光景ですが、よく見ると川の中央でカワウが泳いでいます。サギたちは、カワウが追い回した小魚が近くにくるのを待って、ご馳走にあやかろうとしているのです。

撮影・文：柏崎勝・荒幡経夫

目 次

川で集めたゴミの分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・	荒幡 経夫	1
「川づくり・清瀬の会」新時代に向けて・・・・・・・・	柳瀬ゴロー	5
植栽地だより		
植栽地にも春がきましたよ・・・・・・・・・・・・・・・・	宮澤とよ美	6
河川と自然シリーズ②④		
「君の名」は？・・・・・・・・・・・・・・・・・・	鈴木紀代子	8
柳瀬川・空堀川に棲む魚の紹介		
カワムツ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	荒幡 経夫	9
自然と共に育ってきた・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大草 星七	10
令和4年9月から令和5年3月までの活動報告・・・・・	荒幡 経夫	11
今後の大きな行事予定・事務局だより・・・・・・・・	荒幡 経夫	16

川で集めたゴミの分析

荒幡経夫

会では、発足当初から川の清掃活動を中心的に行ってきましたが、ゴミの内容については細かく調べていませんでした。

令和2年からゴミの仕分けを始め、少しですがデータが集まりましたので、集計してゴミの動向を探ってみることにしました。

調査範囲は柳瀬川では、台田運動広場前の上流150m～下流250mまで約400mのエリアで実施し、空堀川では、梅坂橋の上流600m～下流600mまで約1,200mのエリアで実施しました。

ゴミの種類を、ペットボトル類・缶類・ビニール類・トレイ類・工事資材類・その他に分け、その日に集めた体積量(L)(表・グラフ-1)と、比率(%) (表・グラフ-2)を見てみました。

工事ゴミは、最初に入れていませんでしたが、あまりにも多いので項目に入れました。その他のゴミは、植物・ビニール片・紙ごみ・食べ残し・紙おむつ・玩具・食器・等、5項目に入らないもの全てですが、45Lの袋に入らないものは除外しています。

結果

項目別体積量の最小値・最大値は、ペットボトル類は15L～180L、缶類は10L～50L、ビニール袋類は40L～380L、トレイ類は10L～60L、工事資材類は45L～300L、その他は20L～270Lでした。

清掃範囲が、空堀川と柳瀬川では約3倍の違いがあるので、数値的には空堀川のほうが多く、最大値は常に空堀川での結果でした。例外として1件柳瀬川で多い回がありましたが、これはバーベキューのゴミが多かった日です。

最小値は、両河川で見られ川による違いは、あまり見受けられませんでした。

2015年の国連サミットの中で、環境問題を様々な社会問題として、どう取り組むか議論された中で、SDGsが提唱され、2020年からレジ袋の有料化が進み、その影響の結果レジ袋レスが進み、目に見えて減るという現象が見られました。

しかし、一方ではそれに代わるビニール製品や紙類などが多く利用されるようになり、その他のゴミが増えていく傾向が見受けられました。

ペットボトルは、海洋ゴミの多くに見られるなど、環境汚染の象徴のようになっていますが、2019年に国連で、プラスチック資源循環戦略が策定され、脱プラスチックが進められるようになり、リサイクル意識の向上や、マイボトルの利用が推奨されたことなどが原因で、減ってきているように見られます。

工事ゴミは、毎年大きな工事が秋から春にかけて施工され、工事が終了する頃に、多い傾向が見られました。

大人用・子供用区別なく紙おむつの投棄が目立ち、悪臭を放つ厄介な物の一つで、工事ゴミも必ず捨ててあり、大きな物や重たい物があり回収するのに手間が掛かりました。家庭からも大きなゴミとして、クーラーボックス・自転車・電子レンジ・炊飯器・などが捨てられていました。

沢山のゴミが川の環境へ与える影響について考えてみました。

- ・景観を悪くする

ゴミは、水辺に生える木々や植物に絡みつき景観を悪くし、ものによっては悪臭を放ち、川のイメージを大きく損なう原因になっています。

- ・有害な物質が水や生体内に影響する

有害な物質が水に溶け込むと、最初に植物プランクトンが取り込み、次に動物プランクトンが取り込み、次に小動物が取り込み蓄積していきます。最終的にはそれらの生物を食べた時に、大型魚類や爬虫類、両生類、哺乳動物などへの影響として、繁殖能力の低下、体型の異常、適応力の低下、治癒力の低下などが考えられます。

- ・生物の棲みかを奪う

ゴミは、護岸の穴や隙間をふさいだり、砂礫床や石に覆いかぶさり、魚や生物にとって必要な隠れ場所や産卵する場所を奪っています。

川ゴミは、最終的に海に下り、生態系を破壊する大きな起因として、海洋の環境に多大な影響を及ぼします。

地球環境を守るためには、私たち一人一人がゴミを減らす意識を持つことが大切です。「川づくり・清瀬の会」から提案したいと思います。

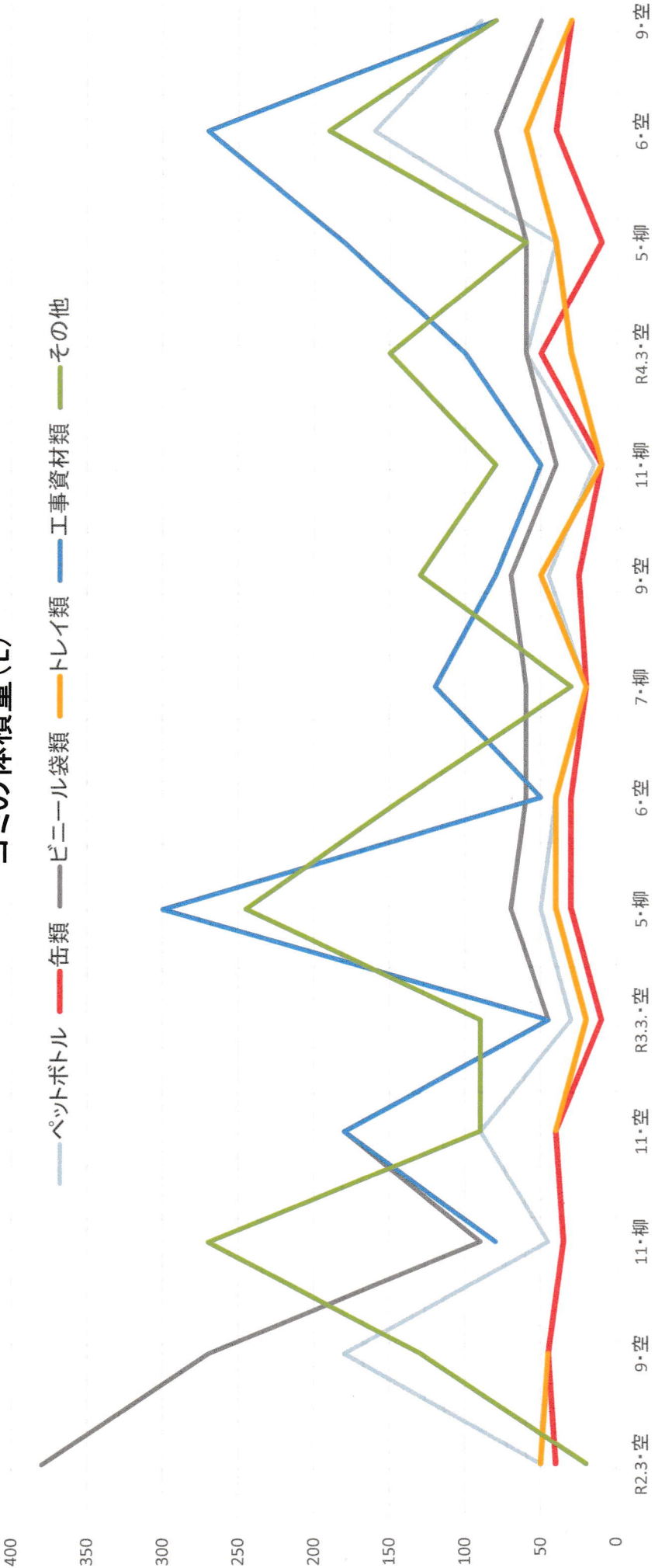
- ・プラスチック袋を使わず、エコバッグ（トートバッグなど）を使おう
- ・川でゴミを見つけたら、拾って片付けよう、捨てる人がいたら注意しよう
- ・ゴミはしっかり分別し、捨てる日、捨てる場所を守ろう

ゴミの体積量(L)

	R2.3・空	9・空	11・柳	11・空	R3.3・空	5・柳	6・空	7・柳	9・空	11・柳	R4.3・空	5・柳	6・空	9・空
ペットボトル		50	180	45	90	30	50	40	20	45	15	40	160	90
缶類		40	45	35	40	10	30	30	20	25	10	10	40	30
ビニール袋類		380	270	90	180	45	70	60	60	70	40	60	80	50
トレイ類		50	45		40	20	40	40	20	50	10	40	60	30
工事資材類				80	180	45	300	50	120	80	50	180	270	80
その他		20	130	270	90	90	245	140	30	130	80	60	190	80
合計		540	670	520	620	240	735	360	270	400	205	390	800	360

太字:最大値 斜め字:最小値 空:空堀川(梅坂橋付近) 柳:柳瀬川(台田運動公園広場付近)

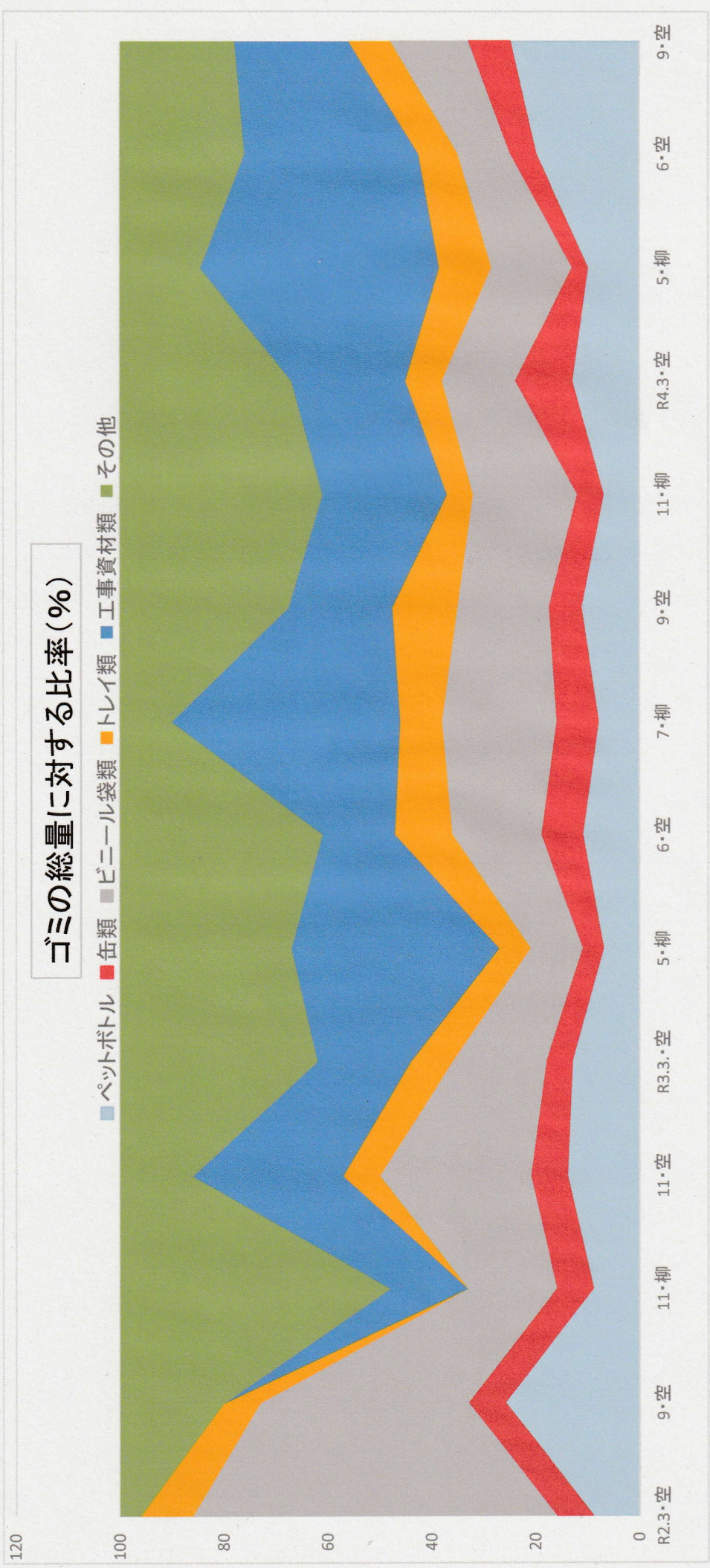
ゴミの体積量(L)



ゴミの総量に対する比率(%)

	R2.3・空	9・空	11・柳	11・空	R3.3・空	5・柳	6・空	7・柳	9・空	11・柳	R4.3・空	5・柳	6・空	9・空
ペットボトル	9	26	9	14	13	7	11	8	11.3	7	13	10	20	25
缶類	7	7	7	7	5	4	8	8	6.2	5	11	3	5	8
ビニール袋類	70	40	17	29	18	10	17	22	17.5	20	14	15.5	10	15
トレイ類	10	7		7	8	6	11	8	12.5	5	7	10	7.5	8
工事資材類			15	29	18	40	14	44	20	24	22	46	33.5	22
その他	4	20	52	14	38	33	39	10	32.5	39	33	15.5	24	22

空:空堀川(梅坂橋付近) 柳:柳瀬川(台田運動公園広場付近)



表・グラフ-2

「川づくり・清瀬の会」新時代に向けて

柳瀬ゴロー

ここ3年の間、新しい会員さんが多数仲間入りしました。清掃や生き物観察会など会の活動にも積極的に参加くださる方々ばかりなので、良い雰囲気です。個性豊かで明るい方ばかりなので、常に笑い声が絶えず、にぎやかに楽しく活動ができています。年齢も、最年長の戸塚宏さんを筆頭に中村吉成さんの3歳になるお子さんまで幅広く、世代間交流の場でもあります。こうした会の雰囲気が日ごろの活動、昨年の『出沒！アド街ック天国』や J:COM 西東京『ジモト応援！TOKYO つながる News たまろくと』、そして Facebook コミュニティ「清瀬・だいすき」などの SNS を通じて拡散されており、川づくり・清瀬の会活動への関心は高まっているように思います。

私が川づくり・清瀬の会に加わってから間もなく15年となります。当時は私も40代で、見渡せば先輩たちばかりだったのです。まだ若造だった私に対し、先輩方が大変温かく優しく、これは今でもですが、居心地が良いのです。さらに「素の自分」でいられる安心感があるのです。血気盛んな若造だった私は、時々前会長の宮澤さんに怒りをぶつけてしまい、諷められることも多々ありました。こんな生意気な私を温かく見守ってくださる宮澤さん他先輩方には今も大変お世話になります。

会幹事として「川づくり・清瀬の会のさらなる発展」を念頭に置きながら活動しておりますが、やはり先輩方が築き上げた「伝統」を守り、そこへ上手に「新しい風」を入れることが、会の発展に不可欠であると考えます。「新しい風」ということで言えば、川づくり・清瀬の会の活動が学校、保育園からも注目され、今年度は中里どろんこ保育園、清瀬第四小学校、清明小学校、下宿地域市民センターからお声がかかり、清掃、及び観察会のサポートができました。この活動により、次世代を担う子どもたちが川づくり・清瀬の会の各種活動に参加し、その保護者も含めリーダーとなり、いつしか仲間入り、という流れになるような気がするのです。清瀬市の場合、学校を挙げて環境学習に力を入れ、その影響なのか、生き物や植物などの自然や、その自然を壊すゴミの問題に関心が高い子どもが多いのです。その子どもたちが成長するにつれ、おしゃれや恋愛などに関心が移ってしまい、もしかしたら進学、就職、結婚などを機に清瀬からも離れてしまう恐れもあります。しかし、今の子どもたちが親となり、子育てに適した場所を考える際、ふると「清瀬」もきっと選択肢の中に入るでしょう。現に、清瀬に「回帰」され、子育てされている方もいらっしゃる。また、縁も所縁もなかった清瀬に偶然移り住み、自然豊かな清瀬に魅せられ、今共に活動される仲間たちもたくさんおります。

清瀬の自然は人々を魅了します。これからも TOKYO854 くるめうで私が担当する『ゆったり清瀬』、『リバーサイド 854』でも、SNS でも、川づくり・清瀬の会活動と、尊い清瀬の自然についてますます発信してゆきたいと考えております。

植栽地にも春がきましたよ



宮澤 とよ美

まだ寒の開けない1月下旬、周りの樹木は葉を落とし、小さな冬芽を守ろうと頑張っている時。なんと日当たりのよい三郷橋に近い柵の下から林内に向けて、敷き詰めたように緑の草がロゼットになって寒風に耐えています。地面に張り付くように細い枝を絡み合せて伸ばしているのは、繁殖力のすごい「コゴメイヌノフグリ」。よく見ると

すでに小さな蕾さえつけています。私は心の中で「ごめんね」と詫びながらじかむ手でむしり取ります。白い4枚の花弁は愛らしく、外来種に向き合うときいつも心が痛みます。でもいつの間にか目にするのが出来なくなってしまった在来種「イヌフグリ」を見たいと思います。

この草の名前は「コゴメイヌノフグリ」オオバコ科クワガタソウ属。2月中旬むしり残した枝が伸び、コゴメイヌノフグリ（小米犬の陰囊）の米粒のように小さな白い花が一面に咲き始めました。コゴメイヌフグリの日本への入国履歴ははっきりして



芽出しを待つ植栽地

います。地中海、南ヨーロッパに広く分布する多年草で、1960年小石川植物園に研究用に持ち込まれたものが野生化し、都内全域に逸出し、清瀬では初めて2015年3月15日に清瀬橋近くの巨石護岸の間に確認。それから8年、どこでも見られる野草となり、その繁殖力に驚きます。これからの付き合いが長くなりそうです。頑張って抜き取りましょう。



コゴメイヌノフグリ



オオイヌノフグリ



フラサバソウ

上の3種は同じ仲間、どれも4枚花弁で1日花、午後には落ちてしまいます。コゴメイヌノフグリより140年程も前（明治の初めに確認）に帰化しているオオイヌノフグリは、最近植栽地でコゴメイヌノフグリに押され、いつの間にか株数を減らしています。上の写真もこっそりとコゴメイヌノフグリがオオイヌノフグリに迫っています。毎冬林床の植物がすがれてしまう時、オオイヌノフグリの花は瑠璃色の小さな宝石に例えられるように、外来種でありながら、早春から多くの人に愛されている野草です。

右のフラサバソウは、ヨーロッパ原産。清瀬では林、畑、道ばたなどどこにでも見られますが、空堀川河床にはオオイヌノフグリより多く見られ、ここでもオオイヌノフグリは苦境です。フラサバソウの花は淡青紫色で全体にまばらに長い白毛が見られます。植栽地にはこれら外来種も多いのですが、コナスビなども開花を待っています。

昨夏頃、河川清掃の時のこと、会員 A 氏から「ドクダミに八重の花があることを知りました。珍しい花を見ましたよ！」と、その花に出会った時の感動そのままにお話がありました。

「ヤエドクダミですか？ それなら植栽地にもありますよ」と奥の斜面地に皆様をご案内。すでに名残花になったヤエドクダミの観察です。植栽木が大きくなるに従い、変化をする林床の植生を見て戴きたいと日頃思っていた私は、偶然にもちょっとした嬉しいひと時でした。

ヤエドクダミも、ドクダミ科ドクダミ属。図鑑を見ると原産地は日本と東アジアとか。植栽地に頑張っているのはどちらでしょうか。いずれにしても、独特な匂いや地下茎で繁殖力の強い野草ですが、八重咲きのドクダミにはそれとない趣があり、観賞用として流通している品種の逸出でしょう。野草図鑑を探してもなかなか掲載されていませんが、このヤエドクダミ 1965 年 8 月 1 日に発行された「檜山庫三氏の武蔵野の植物」には、ドクダミの学名 *Houttuynia cordata* Thumb. の後に *f. plena* Okuyama がついた学名で掲載があり、発見場所は「井の頭」とあります。



ドクダミの花



ヤエドクダミの花

現在のヤエドクダミの学名は大方 *Houttuynia cordata* var. *plenus* と表わされているようです。私が初めてこの花に出合ったのは、10 年ほど前会誌配布時、中里の個人宅玄関前に可憐な花を発見、野草とは思わなかったのですが、上記 A 氏のように不思議なものを見つけた感動で見入ってしまったことを思い出します。そこでは園芸種として植えられたものでしょう。植栽地のヤエドクダミはいずこから？



ドクダミの花びらに見える白い部分は、「総苞」(苞とは、蕾を包むように葉が変形したもので、蕾が開いた後は花の基部に残り苞葉ともいい、個々の苞を苞片といいます。)で、花期になると白い総苞片の頂部に、ドクダミよりはるかに小さい棒状の花序をだし、花を咲かせます。花卉に見える部分は総苞片(そうほうへん)と呼ばれる葉の一部分で、時には白の総苞片の中に緑色の苞片が混じることもあります。その総苞片の真ん中から上に向けた花序に雄蕊と雌蕊が密生しています。今年はルーペなどで覗いてみたらいかがでしょう。何か発見があるかもしれません。ドクダミは十種類の薬効があるとか、古くから民間薬として使われてきたことから、別名「十薬」と呼ばれています。ドクダミの名前の由来は、「毒痛み」、あるいは「毒溜め」がなまったものだと言われています。毒や痛みを取るという意味の「毒痛み」がなまったという説、毒を全草に溜め込んでいるから「毒溜め」がなまってドクダミになったという説もあるそうです。八重咲きのドクダミも、利用法としてはドクダミと同じ使い方ができるそうです。見た目ドクダミの方が一回り大きくいかにも薬効がありそう、美しい花時になれば陰干しにして乾燥後お茶にして楽しむ方もいると見え、時に採集している方にお会いいたします。そのドクダミの芽吹きも間もなく、どうぞ植栽地におみ足をおはこびください。

「君の名」は？



鈴木紀代子

私の好きな場所は図書館。時間を作って足を運ぶ。私の好きな季節は春。野草たちが花を咲かせる。名前も知らない草花も多い、助けてくれるのが図書館にある植物図鑑たちだ。野草と雑草の違いはどこにあるのか。野草は野に生い茂る草のことで、人間に役立たないのが雑草と呼ばれているとのこと。野菜・山菜・薬草・雑草に分けられたのか。雑草と呼ばれる草花の可愛らしさは、季節の到来を告げて人の心を温めてくれるもの。花屋の店先には沢山の色とりどりの花がある。どれもキレイだ。ある時、ハキダメギクの群生しているところに出会った。植物学者の牧野富太郎さんが名付けられたとか。

名は哀し 美しく咲いて ハキダメギク



この川柳もどきはその時作ったもので、あるところに発表させてもらった。

私の住むアバラ屋のプランターや、ブロック塀のところにも風が運んで来てくれるのか、いろいろな草や草花が生えている。小さな花がかわいかったので、図鑑で調べてみた。トキワツユクサと知る。最近別の図鑑を開いてみたところ、「ノハカタカラクサ」とあった。他にはキュウリグサ、ムラサキケマンやキケマンまで咲いてくれる。ニガナやスマレ、ヒエンソウなども毎年花を見せてくれる。嬉しいかぎりだ。

ノミノフスマ、ノミノツヅリは小さな、小さな白い花。なんで「ノミ」なのか、図鑑を開いてみると、葉が小さく、フスマ（カケブトン）、ツヅリ（粗末なキモノ）にたとえたとのこと。連想がすごすぎる。ヤブジラミはどうなのか。果実の形がシラミに似ていることや、服などにつくので名づけられたとのこと。私の好きな「ジロボウエンゴサク」は、市内ではカタクリの保護地区の林の中やけやき通りの一部分で見かけるが、暖かい地方では子どもたちがスマレの花を「太郎坊」、この花を「次郎坊」と呼んでいたところから、ジロボウエンゴサクと名付けられたという。はじめての草花や名前も知らない野草に「君の名は？」と尋ねても答えてくれるわけではないので、図書館に行くことになる。時折、川柳もどきで野草や自然と遊んでいる。

母子草 空家 庭すみ カクレ咲き

背のびして 皇帝ダリア 空を突く

ノボロギク 完封めげず 立ちつくし

力自慢 持ちあげ 霜柱

柳瀬川・空堀川に棲む魚の紹介

荒幡 経夫

カワムツ



コイ目コイ科に分類され、もともとは西日本に棲息していましたが、関東にも分布を広げています。

写真は、追星が顔に出ているオスの成魚と、左上が5 cm程の稚魚です。

オイカワに比べると、体側の中心に黒い縦の帯がある事と、各鰭が黄色い色をしている事で見分けることができます。

また、オイカワは、川の流心を好み素早く泳いでいるので捕獲することが難しいのですが、カワムツは、岸寄りによく隠れて居るので手網を使った採集でも簡単に採ることができます。お互いに生息域を分けて、うまく棲み分けている事が解ります。

繁殖期になると、写真のように色鮮やかになり、口の周りに追星が多数出現します。産卵は、4月～9月頃までで、流れのゆるい淵や浅瀬で砂礫の中に卵を産み付けます。ふ化した稚魚は、プランクトン・藻類を食べて育ち、稚魚になると昆虫・藻類を食べるようになります。半年で5 cm位まで育ち、2年で10 cm以上になり繁殖を始め、大きなものは、20 cm近くになります。

オイカワに比べてあまり美味しくないようですが、てんぷら・から揚げ・甘露煮などにして食べられています。

自然と共に育ってきた

大草星七

卒業論文の調査テーマで「川づくり・清瀬の会」にお世話になっている大学4年生の大草星七（オオクサセナ）と申します。

私は「川づくり・清瀬の会」が主催で行われている「夏のボランティア体験」に2008年から参加させて貰っていました。当時は参加者の人数が両手で数えられるほどでしたが、去年行われた「夏のボランティア体験」の募集をweb上で行った際には定員を優に超える200人以上の方が募集開始の5分間で集まったと聞いています。また、2022年8月6日にテレビで放送された「アド街ック天国」にて清瀬市が取り上げられました。街の魅力をランキング形式で番組が進行されていく中で1位に選ばれたのが「川づくり・清瀬の会」さんの活動拠点地とも言える「柳瀬川」でした。番組には「川づくり・清瀬の会」さんが柳瀬川で活動している映像が放送されていました。このように近年になって「川づくり・清瀬の会」さんがより注目されるようになってきました。このことに携わっている者として誇らしく思いました。

そんな私は父親の影響で幼少期の頃から生き物に強い関心が有りました。その中でも魚類への関心が強く、それは魚の図鑑を何度も読み返しているほどでした。最初に「川づくり・清瀬の会」の活動に参加するようになったのは「もっといろんな種類の魚が見たい」という探求心が、活動に興味を持つきっかけになったのだと思います。活動の中では図鑑でしか見たことのない魚や知らなかった魚など、多くの発見がありました。以来、活動には何度も参加するようになり、さらに生き物への関心が深まり、生活の中でも専門的な知識を持って自然と触れ合うようになってきました。

活動以外でも自然に触れながら生活をしているとあることに気が付くようになりました。それは年々生き物の数が明らかに減っていることです。この現状を少しでも改善したいと考え現在通っている大学では「多くの人々に環境保全に意識をもってもらうために効果的な方法」についての研究を行っています。自然環境を改善していくには多くの人に環境保全に意識を持ってもらうことが効果的とされています。多くの人に環境保全に意識を持ってもらうためには自然の魅力と必要性を多くの人に広める必要があると思います。この目的を果たすことが今「川づくり・清瀬の会」の活動に参加させてもらっている理由になっています。また、この経験を糧にして将来は環境保全に携わる職業に就こうと思っています。



1人ひとりの力は小さくても集まって大きな力になれば、環境改善も夢ではないと思います。そんなことを願いながら今日も研究に勤しんでいます。

◆令和4年10月から令和5年3月までの活動記録◆

【令和4年10月の活動事項】

2日：植栽地管理作業：宮澤・戸塚・加瀬・柏崎・新井・船木・荒幡

参加者：会員は、菅原さん・高橋さん・小川さん・大室さん・星野輝子さん・星野玲子さん・中村さんご家族。

10mほどのナンキンハゼの木を間伐、下枝の剪定、落ち枝拾い、下草の除去を実施する。



間伐したナンキンハゼの木



下枝の剪定



宮澤先生の植物解説

4日：柳瀬川で生物観察会実施：田島・宮澤・戸塚・柏崎・新井・船木・荒幡

参加者：会員、中村さん・長谷川さん

どろんこ保育園の園児たちに、柳瀬川の自然を知ってもらうために、タッチング水槽

を作り生物を入れて、ふれあい体験を実施した。

採集した生物：オイカワ・カワムツ・カマツカ・スミウキゴリ・ヌマチチブ・ギバチ・スジエビ・カワリヌマエビの仲間・ヤゴの仲間（コオニヤンマ・コヤマトンボ）・アメリカザリガニ。



園児たちは、魚との触れ合いを楽しんでいました

14日：幹事会：田島・宮澤・戸塚・加瀬・柏崎・新井・船木・荒幡

【11月の活動事項】

6日：柳瀬川河川清掃：宮澤・戸塚・加瀬・柏崎・新井・船木・荒幡

参加者：会員は、高橋さん・大室さん・木村さん・星野輝子さん・星野玲子さん・中村さんご家族。市からは木村課長。一般からは西山さん親子。市内一斉清掃に参加し、台田運動公園前の柳瀬川河川清掃を実施する。集めたゴミの総量は約 320L でした。



ペットボトル 30L (9%)



缶類 10L (3%)



ビニール類 80L (25%)



トレイ類 20L (6%)



工事ゴミ 80L (25%)



その他 100L (32%)

14 日：幹事会：田島・戸塚・加瀬・柏崎・新井・船木
卒論生の大草君参加。

27 日：空堀川清掃作業：戸塚・宮澤・新井・船木・荒幡

参加者：会員は、高橋さん・小川さん・城野さん・渡辺さん・大草さん・星野輝子さん・星野玲子さん・中村さんご家族。一般からは、増岡さん・西山さん親子・他 7 名。

空堀川周辺（前原橋～新合流点）の河川清掃を実施する。

集めたゴミの総量は約 440L でした。（剪定した枝は含まず）



ペットボトル 50L (11%)



缶類 30L (7%)



ビニール類 80L (18%)



トレイ類 30L (7%)



工事ゴミ 160L (36%)



その他 90L (21%)

【12月の活動事項】

9日：幹事会：田島・戸塚・宮澤・加瀬・柏崎・新井・船木・荒幡

11日：植栽地管理：田島・宮澤・加瀬・新井・船木・荒幡

参加者：会員は、菅原さん・高橋さん・大室さん親子・木村さん・星野輝子さん・星野玲子さん・中村さんご家族。一般からは粕谷さん、北村さん・佐々木さん。

植栽地内の落ち枝拾い・剪定・道路の落ち葉掃き・10mほどのクヌギを1本間伐する。今年最後の作業なので、作業終了後簡単な納会を実施する。



子供も作業に参加



間伐したクヌギ

【令和5年1月の活動事項】

13日：幹事会：田島・戸塚・宮澤・加瀬・柏崎・新井・船木・荒幡

【2月の活動事項】

10日：空堀川河川清掃とゴミ集積場の清掃：宮澤

10日：幹事会：田島・戸塚・宮澤・加瀬・柏崎・新井・船木・荒幡

26日：川でつながる発表会参加：船木・荒幡

会員の高橋明子さんが参加。3年ぶりに荒川下流河川事務所で現地開催する。新河岸川流域川づくり連絡会のメンバーならびに、流域内の学生や地域住民が

集まり、流域内の市民団体、学生や先生が活動の発表をした。

28日：河川清掃と外来種駆除：宮澤・戸塚・加瀬・柏崎・新井・船木・荒幡

会員は、長谷川さん・中村さん・星野輝子さん・玲子さんが参加。

清明小学校5年生の総合学習の一環として、柳瀬川での外来植物の駆除と河川清掃を実施し、学校で外来生物とゴミ問題について、宮澤と荒幡が講話する。



子供たちが集めたゴミ



外来植物の説明



学校での講話

集めたゴミは、全部で約 220L でした。今回は工事ゴミがありませんでした。



ペットボトル 30L (13%)



缶類 10L (5%)



ビニール類 50L (23%)



トレイ類 30L (13%)



危険物 10L (5%)



その他 90L (41%)

【3月の活動事項】

10日：幹事会開催：田島・戸塚・加瀬・柏崎・新井・船木・荒幡

卒業論文生・大草君が論文の報告をする。

19日：空堀川清掃：戸塚・加瀬・宮澤・柏崎・新井・船木・荒幡

参加者：会員は、大室さん・木村さん・星野輝子さん・星野玲子さん・大谷さん
中村さんご家族・菅原さん・里見さん・富塚さん・城野さん。一般からは清明
小学校の先生と生徒さん・他、合計15名の皆さん。

梅坂橋を起点に、上流は前原橋、下流は新合流点までを工事エリアを除いて
清掃した。

集めたゴミは、全部で約370Lでした。



ペットボトル 50L (14%)



缶類 30L (8%)



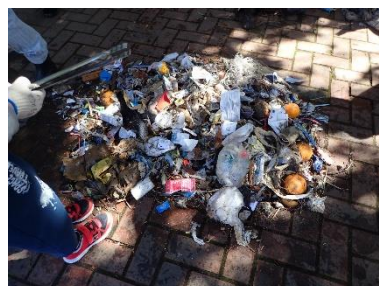
ビニール類 120L (32%)



トレイ類 40L (11%)



工事ゴミ 40L (11%)



その他 90L (24%)

29日：会誌製作：田島・宮澤・戸塚・加瀬・柏崎・新井・船木・荒幡

会誌37号と総会資料の印刷・製本、配布・郵送の作業を実施する。

◆今後の大きな行事予定◆

- ・ 4 月 15 日（土）：総会開催（清瀬市民活動センター） 14:00 開催
- ・ 5 月 21 日（日）：植栽地の樹木管理（明治薬科大学前・三郷橋） 9:00 集合
- ・ 5 月 28 日（日）：市内一斉清掃・柳瀬川河川清掃（金山緑地公園） 9:00 集合
- ・ 6 月 4 日（日）：全国一斉水質調査（事務局又はお近くの幹事にお尋ねください）
- ・ 6 月 25 日（日）：空堀川河川清掃（清瀬橋下の河原） 9:00 集合
- ・ 7 月 21 日（金）：柳瀬川河川清掃・生物採集（台田運動公園） 9:00 集合

※皆様のご参加ご協力をお願いいたします。

◆事務局だより◆

コロナも第 8 波が終息し、5 月からはインフルエンザと同等の 5 類への移行が進められ、規制もだいぶ緩められるようですが、まだ一部の人たちにとっては気の抜けない日々が続くと思います。

会では、大きな事故や感染者を出すことなく活動を実施することができました。

今年も、多くの活動が実施できるように、油断することなく進めてまいりたいと思います。

昨年 12 月から進められている空堀川の薬師橋下流の落差工事は 5 月に完工予定です。長い工事になりましたが、令和 5 年度で梅坂橋と柳原橋区間の 50 mm 対応工事が全て終了する予定です。

工事後は、何も無くなってしまった河原になってしまいましたが、一刻も早く昔のような多自然豊かな川に育てていきたいと考えています。

中里 4 丁目と 6 丁目、下宿 3 丁目の河床工事は、工事案内を見ると今年で終了する予定です。

令和 5 年度も、市のイベントはどのようになるか解りませんが、手洗い・マスクの仕様、消毒などの感染予防を実施しながら、活動を進めていく考えでいます。

少しでも川の環境が良くなり、成長していけるように頑張っていきたいと思います。

今後も、会員の皆様の増々のご支援と、ご協力をよろしくお願いいたします。

川づくり・清瀬の会

TEL : 042-493-7864 事務局：荒幡経夫